

平成29年5月28日
今週のベストショット



雁レク軟式9 三苦ホーネッツ対奈多フェニックス戦

強打のフェニックス打線を完封し、先制2ランを放った三苦ホーネッツ川原流星投手。

写真：三友クラブ 大坪 和則

雁レク9 (センター側) 15Kを奪う圧巻のピッチングと打線が噛み合いホーネッツが勝利！

三苦ホーネッツ (3勝) 0220012 7 川原〇-広木

奈多フェニックス (1勝2敗) 0000000 0 今林(勇)●、松本一実延(新)

HR：川原、三浦 (三苦ホ) 3BH：堺(恭) (三苦ホ) 2BH：堺(恭) (三苦ホ)

盗塁：井手(涼)、稲葉 (三苦ホ)

先発は、三苦ホーネッツ川原投手、奈多フェニックスは今林(勇)投手。一回表、フェニックス西藤三塁手がセーフティーバントをダッシュで捕球、流れるように送球する華麗なフィールディングなどで三者凡退。その裏フェニックスもホーネッツ川原投手の速球と変化球の前に2三振を含む3人で攻撃が終わるなど、両先発ともまずまずの立ち上がりを見せ投手戦になるかと思われた。しかし、ホーネッツの打線が今林(勇)投手に襲いかかる。二回表ホーネッツは一死から堺(恭)選手が右中間を破る三塁打を放つ。しかし、次打者の内野ゴロで三本間に挟まれタッチアウト。これで攻撃は終わるかと思われたが、続く七番川原選手がレフト方向に打球を放つと打球は大きく伸び、レフトを超え先制の2ランHRとなる。二回裏フェニックスは、四番安藤選手がセンター前ヒットを放つも後続が三連続三振で点を入れることができなかった。三回表ホーネッツは、相手のエラーで更に2点を追加。その後五回まで両チームとも今林(勇)投手と川原投手のピッチングの前に0点が続く。六回表からフェニックスは松本投手がマウンドに上がる。ホーネッツ五番堺(恭)選手がセンター前に球を転がすと内野までの返球

がないのを見て猛然と二塁まで進み二塁打とする。続く矢野(雅)選手がセンター前タイムリーヒットを放ち1点追加する。その裏フェニックスは一死から一番西藤選手が綺麗に三遊間を抜けるヒットを放つ！しかしここでも川原投手が踏ん張り後続を断ち、反撃のチャンスを与えなかった。七回表ホーネッツは代打永島選手がセカンドのグラブを弾く内野安打を放つと九番三浦選手が右中間を破る2ランHRを放ち更に2点を追加。七回裏フェニックス最後の攻撃となるが、川原投手に3連続三振と反撃をすることができずにゲームセット。終わってみれば川原投手は15Kと圧倒的なピッチングを見せ、打線も噛み合い7得点と大差でホーネッツ勝利となった。フェニックスの今林(勇)投手、松本投手も素晴らしいピッチングをしたが、四球やちょっとしたミスでホーネッツ打線が見逃さず攻め立てた。一方ミスを見逃さなかったホーネッツ打線は素晴らしかった。それと速球に変化球を交えて三振の山を築いた若い川原投手が、今後どういう成長をするか、他チームがどういう攻略するのが楽しみになることを感じさせる試合だった。(記事：三友クラブ 駄原 孝一郎、写真：大坪 和則)



フェニックス先発の今林勇太投手。



ホーネッツ先発の川原流星選手。



一回表、バンドを華麗に捌いたフェニックス西藤選手。



二回表、猛然とダッシュで三塁打ホーネッツ塚(恭)選手。



二回裏、センター前ヒットを放ったフェニックス安藤選手。



六回表からマウンドに上がったフェニックス松本投手。



六回表、中前適時打！ホーネッツ矢野(雅)選手。



六回裏、中前ヒット！フェニックス西藤選手。



七回表、代打でヒット！ホーネッツ永島選手。



七回表、2ランHR！ホーネッツ三浦選手。



七回裏、期待に応えて塁に出たいフェニックス今林(英)選手。



本日のHR hitter！ホーネッツ三浦選手と川原選手。

青松園B 三回に明暗分かれる

レッドサンデーズ (1勝2敗) 003000 3 古賀●、塚本ー荒口
 奈多クラブ (3勝) 20601X 9 今林(瑠)○ー安河内

3BH: 今林(健)(奈多ク) 盗塁: 古賀、荒口(レッド)

快晴の青松園Bグラウンドはレッドサンデーズの先攻でスタートしたが、両チームの先発は対照的な立ち上がりを見せた。2三振を奪い、三者凡退で退けた奈多クラブ今林瑠生投手に対し、レッドサンデーズ古賀投手は死球をきっかけに暴投、四球に野選と不運な失策も絡み2点を失う。続く二回はきっちり内野ゴロで三者凡退に迎えているだけに古賀投手にとって惜しい立ち上がりとなった。初回から試合の流れを握った奈多クラブだが、潮

目が変わったのが三回表。微妙な判定で無死から2四球を与えた今林瑠生投手がリズムを崩したとみるや、レッドサンデーズは進塁打、ディレードのWスチールなど小技で1点を返す。更に二番川原（正）選手のスクイズバント安打で同点、続く三番八島選手の犠打後の一塁手の動きをよく見ていた川原選手の好走塁とWPで、3点目を奪って逆転に成功した。巧みなベンチワークとソフトボールのお手本のような攻撃でレッドサンデーズベンチが勢いついたが、奈多クラブは力で流れを再び引き寄せる。三回裏一死後、四番馬場口選手、五番安河内選手が連続安打で出塁すると暴投で同点、四球2つを挟み八番久保選手の適時打で逆転し、なお満塁。両チーム緊張の場面で九番今林健選手がライト線に走者一掃の三塁打を放ち、この回6点を奪って突き放した。レッドサンデーズは四回から塚本投手を投入して反撃を期するが、復調した今林瑠生投手の前に出塁できず、逆に追加点を奪った奈多クラブの快勝となった。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：橋村 明浩）



やる気溢れる試合直前のレッドサンデーズベンチ。



モーニングコール中・・・



好投した奈多クラブ今林瑠生投手。



レッドサンデーズ先発の古賀投手。



先制！今林瑠生選手のスライディング



三回表、Wプレーを狙う奈多クラブ今林健二塁手。



三回表、レッド三番八島選手の犠打等をきっかけに逆転。

三回裏、今林祐将選手の死球でチャンスを広げ再逆転。

青松園A 雁の巣ライナース粘る三球会を強打で圧倒！

雁の巣ライナース（3勝1敗）020003 5 有馬○—明瀬（航）

三苦三球会 （2勝2敗）100001 2 吉留●—藤澤

HR：久保田、今林（雁の巣） 3BH：明瀬（航）（雁の巣） 盗塁：濱口、藤澤（三球会）

共に2勝1敗で迎えた和白リーグ随一の得点力をほこるライナースと、機動力を使い1点を獲りにくる三球会。ライナース先発は速い球と遅い球を巧く投げ分ける有馬投手。三球会は制球力抜群！吉留投手。初回吉留投手は、一二番を内野ゴロに打ち取り、三番を三振にとる上々の立ち上がり。その裏、三球会は一死から藤澤選手が四球、二死でテンポラリーランナー濱口選手が盗塁を決め、四番半田選手の遊ゴロがエラーを誘い1点先制。三球会はテンポラリーのルール巧く使い、俊足のランナーが盗塁を決め先制点を挙げた。二回先制点をもった吉留投手は、テンポ良く一死を取るも、ここから強打のライナース打線が襲いかかる。五番久保田選手が右越えHR！六番明瀬（航）選手が左越え三塁打。続く七番有馬選手の適時打で2-1と逆転。好投を続けていた吉留投手に前触れもなく突如襲いかかった。しかしここから両投手共に立ち直りを見せスコアボードに0を並べる。守備も好プレーが何度も見られとても締まった展開。最終六回表、投ゴロ2つで二死とするが、ここから再びライナース打線が襲いかかる。ヒット2本で二死一三塁として、迎えるバッター八番今林颯太選手。2-1とボール先行となった4球目をジャストミート！これが左中間を深々と破る3ランHRとなり5-1とした。二死から下位打線であっても大量点を奪う本当に恐ろしい打線だ。これで試合が決まったかに思えたが、三球会もここから意地をみせる。先頭の四番半田選手が四球で歩き五番塚和彦選手、六番原口選手が連打で無死満塁。七番塚達也選手がレフトへの犠牲フライで1点返し5-2、その後二死となり九番船橋選手がセンター前へ運び再び満塁、一発出ればサヨナラの場面を作ったが最後は有馬投手が踏ん張りゲームセット。勝ったライナースは、有馬投手が緩急をうまく使い三球会打線を翻弄した。打線はどこからでも長打が出て繋がりと一瞬で大量点を奪った。負けた三球会は、吉留投手を中心とした守備で何度もピンチをしのぎ、盗塁を絡め点に結びつけたがチャンスに一本がでなかった。最後まで手に汗握る好試合だった。（記事・写真：和白新町パイレーツ 岩本 喬）



三苦三球会先発の吉留投手。



雁の巣ライナース先発の有馬投手。



先制点を奪って歓喜の三球会ベンチ。



同点弾を放った久保田選手を祝福するライナースベンチ。



二回表、三塁打を放ったライナース明瀬 航選手。



チームを救う守備を見せた三球会渡辺二塁手。



最終回三点本塁打を放つ、ライナース今林颯太選手。



三球会のデスパイネこと、四番半田選手の豪快なスイング！



本日のヒーロー、左から好采配の岩崎監督、久保田選手、有馬投手、今林颯太選手。

雁レク9 (ホーム側) フレンズ2本のホームランを含む13得点で快勝

ブルーマーリンズ (3敗) 10000 1 横山(祥)●-横山(健)

三苦フレンズ (3勝) 5161X 13 山口○-佐藤(由)

HR: 山口、寺山(三苦フ) 3BH: 佐藤(博)(三苦フ) 2BH: 御手洗(文)(三苦フ)

盗塁: 吉村(雄)、松尾、御手洗(介)(三苦フ)

一回表ブルーマーリンズは四球、エラーでランナーを三塁で四番桑野選手の左前適時打で幸先よく1点を先制。その裏三苦フレンズは、四球、エラーなどから2点を取り逆転。さらに七番佐藤(博)選手の2点適時三塁打などで追加点。追いつきたいBマーリンズだが、二、三回は三者凡退。一方フレンズは、二回に1点、三回には山口、寺山選手のHRなどで6点を追加。四回表Bマーリンズは、2本のヒットが出るが得点できず、五回も無得点で最後まで山口投手を打ち崩すことができなかった。フレンズは山口投手の好投、相手のミスからしっかり得点をとれたことが勝利につながったと思う。(記事: 奈多サンデーズ 宮口 和己 写真: 野々下 利生久)



快晴の下、試合開始の整列。



三苦フレンズ先発の山口投手。



ブルーマーリンズ先発の横山(祥)投手。



四回表ヒットを放つブルーマーリンズ横山(健)選手。



四回裏、代打太田選手のフルスイング。



左から三塁打の佐藤(博)選手、HRの山口、寺山選手。

第7週編集後記

WSLの皆さん、コンイチハ!

第7週、5月28日は4試合が行われました。

雁レク9（センター側）の三苦ホーネッツ対奈多フェニックス戦は、急遽先発登板の今林勇太投手が2安打ながらもホーネッツ川原投手の2ランと味方エラーで4失点。代った松本投手も連打を浴び3失点。一方ホーネッツ川原投手は2安打15奪三振の完封。7-0でホーネッツ勝利。

青松園Bのレッドサンデーズ対奈多クラブ戦は、是が非でも先取点を与えたくなかったレッド古賀投手だったが、初回満塁からレッド土田遊撃手のFCで先制点を与えてしまうと七番住田選手のタイムリーで2点。三回表にレッドは機動力を使って、3点取り逆転したのも束の間、その裏倍返しを喰らい、終わってみれば3-9で奈多クラブの勝利。昨年優勝チームを前に古賀投手の集中力が乱れたか？奈多クラブは九番今林健選手がいい働きを見せた。

青松園Aの雁ノ巣ライナーズ対三苦三球会戦は、二回にライナーズ五番久保田選手のHRから4連打で2点先制したライナーズは、六回表にもランナー2人を置いて3連打となる今林颯太選手の3ランで5得点。三球会の追い上げを2点で抑え、5-2でライナーズの勝利。有馬投手はこの試合も打つ方でも活躍。長打力の差が如実に出了た試合だった。

雁レク9ホーム側のブルーマーリンズ対三苦フレンズ戦は、エース不在のブルーマーリンズに好調フレンズ打線が容赦なく襲い掛かった。初回から3安打で5得点すると毎回得点。三回裏には四番山口、八番寺山選手のHRでとどめ。ブルーマーリンズも食い下がったが、単打4本では1点を奪うのがやっと。1-13でフレンズが3連勝。ブルーマーリンズは3連敗。

今週は、負けなし3連勝のチーム、奈多クラブ、三苦ホーネッツ、三苦フレンズの揃い踏みだった。どのチームもチームらしさが出た試合だが、投打のバランスがいい。投手力にモノを言わせ、打撃陣が何の憂いなく振り切っている。

さて、どうしたものか？

お互い潰しあってくれるのを待つか、それとも伏兵が現れるか？

梅雨前のベストコンディションのグラウンドでは力の差が出やすいのでそれも難しいか？